

平成30年度 水道事業会計予算のあらまし

お客さまに安全でおいしい水道水を安定的にお届けするために
総事業費284億円の予算を計上しました。

今年度の主な事業・取り組み

新・マスタープランの「安全」「強靱」「持続」を実現するための今年度の主な事業・取り組みと予算の概要についてお知らせします。

安全

予算額 **4,756万円**

○水質管理の充実・強化

- 水質検査機器の適切な維持管理
- 水質検査機器の計画的更新および整備



強靱

予算額 **84億3,139万円**

○浄配水施設の計画的更新および災害対策

- 阿賀野川浄水場施設整備事業
- 配水場施設整備事業
- 配水施設の更新および整備

○管路施設の計画的更新及び災害対策

- 基幹管路更新事業
- 基幹管路整備事業
- 配水支管更新事業

持続

予算額 **8億4,160万円**

○戦略的な広報及びお客さま、有識者等の意見・要望の把握

- 戦略的な広報の実施
- お客さまアンケート調査の実施
- 水道モニター制度の運用
- 水道事業経営審議会の効果的運用

○放射性物質を含む浄水汚泥の適切な管理と情報提供

- 浄水汚泥の有効利用など

○技術・知識を有する人材確保と育成

- 各種研修の実施

総事業費284億円

水道水をつくるための予算 (収益的収支)

収入 **170億9,038万円**

お客さまからの水道料金
146億3,774万円

加入金や負担金など
24億5,264万円

支出 **154億657万円**

支払利息
7億9,406万円

人件費
23億9,140万円

修繕費や委託料などの物件費
66億2,121万円

減価償却費など
55億9,990万円

水道施設をつくるための予算 (資本的収支)

収入 **52億1,830万円**

補助金など
10億8,130万円

借入金
41億3,700万円

※収支不足額 77億7,484万円は、積立金や減価償却費など留保された資金で補てんします。



支出 **129億9,314万円**

施設の建設改良費
100億9,829万円

借入金の返済
28億9,485万円